

社格 國幣中社
所在 遠敷郡 上宮 (遠敷郡 遠敷村)

小浴神社

祭神 彦火々出見尊

豐玉姫命

今按本社祭神は神主家の傳説に小南大明神は遠敷明神と同神にて鑪座以來千年に餘り遠敷神社に屬したる社なり當村の産土神にて上下大明神とも申すと云ひ今も村人其祭日に米を出し供米とし残れる米を遠敷神主に贈る例なりと云ふいと由ある事なるべし附て後考に備ふ

祭日 九月十日

社格 村社 (無格社)
所在 遠敷郡 遠敷村 大字 金屋

石鞍比古神社

石鞍比賣神社

祭神 石鞍比古神

石鞍比賣神

今按明細帳祭神不詳一説に石衝鬘賣命とあれど信がたし神名式に大和國高市郡巨勢山坐石椽孫神社能登國鳳至郡石倉比古神社ありみな同神なるべし

祭日 三月十六日

社格 村社

所在 小原村 (遠敷郡 鳥羽村 大字 小原)

今按官社私考に當大鳥羽村に岩倉神社あり倉彦明神とも淵倉彦明神とも申す又同村多かいじよにも岩倉明神とよび地主神なりと云傳ふるあり此内地主神と申す方式社なるべし又郡縣志に上中郡小原村に岩倉明神と云るは石鞍比賣神社なるべし山内村にも同名の社あり此村昔は南小原とも云て小原村と同神と云傳ふれば此も比賣神の方なるべし其内小原村なるは社號も重く社傳も聞ゆればこの方式社なるべしと云へるを明細帳には二座ともに小原村にますと云り故今之に従ふ

社格 村社 (無格社)
所在 遠敷郡 遠敷村 大字 金屋

椎村神社

祭神 御稻山玉

祭日 五月二十五日

社格 村社

所在 若狭浦崎 西浦 (遠敷郡 内外海村 大字 若狭浦)

波古神社

祭神

祭日 八月朔日

社格 村社

所在 堤村 (遠敷郡 野木村 大字 堤)

久須夜神社

祭神 大己貴命

祭日 九月十一日

社格 村社

所在 堅海浦 久須夜嶽下 (遠敷郡 内外海村 大字 堅海浦)

彌和神社

祭神 大物主神 彦明神 大歳

祭日

社格

所在 加茂村 大戸

今按官社私考に本村の内大戸と云處の山の麓に神籬の形ありて社なく瘡瘡の護神と云ひて神名を知るもの少し本社の神殿なきは大和の大神社の後世神殿を設けざるに例ひしものなるべしと云る如く本社なる事著ければ神社を興して式社と定むべき事なり

丹生神社

祭神

今按社傳祭神遠敷上宮に同じとあれば彦火々出見尊なるべけれど丹生神の名による時は丹生郡郡神を祭れるならん歟附て後考を俟つ

祭日 九月十日

社格 村社 (無格社)

所在 丹生村 (遠敷郡 國富村 大字 大良庄)

阿奈志神社

祭神 大己貴神

今按社家説に大己貴神と云るは古傳なるべし其は阿奈志の社號の大和城上郡空師坐大兵主神社穴師大兵主神社とあるに由ありて聞ゆるに此大兵主を命と云傳ふるにも思ひ合さるれば也

祭日 四月初申日

社格 村社

所在 奈胡村 (遠敷郡 國富村 大字 奈胡)

今按當社を阿奈志と云ひ村の東北に山を隔て阿納浦あり其西方に阿納坂あり坂の六七町許に阿納尻村あり古へは阿奈尻と云大名なりしなるべし

曾尾神社

祭神

祭日

社格

所在

今按本社の詳ならざる事は伴氏も説はれたるが如し然るに明治十一年八月栗田村三十八所神社敷字修繕のをり古き繩札に曾尾